

ソラマメ・ブロッコリーの年2作体系1回施肥法における施肥量

田口多喜子・田村 晃・加賀谷松和・佐藤 福男

(秋田県農業試験場)

Effect of Application Amount of Fertilizer for Broad Bean and Broccoli Double Cropping System

Takiko TAGUTI, Akira TAMURA, Matuyori KAGAYA and Fukuo SATO.

(Akita Agricultural Experiment Station)

1 はじめに

ソラマメ・ブロッコリーの年2作体系における作畝時1回施肥法について、肥効調節型肥料のLP苦土安2号(LP40入り)とLPS100の組み合わせが適することを前回報告¹⁾した。本報告では、後作ブロッコリーに対するLPS100の施肥量について検討した。

2 試験方法

表1

試験区 (肥料の種類)	供試肥料 (後作ブロッコリー分)	後作分施肥量 (kg/a)		
		N	P ₂ O ₅	K ₂ O
1 肥効調節型肥料	LPS100	1.3	0	0
2 "	LPS100	1.0	0	0
3 化成肥料(対照)	野菜大粒S007	1.3	1.3	0.9

注. *: 試験区は、前作ソラマメ分としてLP苦土安2号(LP40入り)を(施肥量N:P₂O₅:K₂O=1.2:1.6:1.4を全面施肥)施用した。対照区はブロッコリー単作である。

- (1) 試験場所: 秋田農試圃場(細粒褐色低地土)
- (2) 供試肥料: 肥効調節型肥料 LPS100
- (3) 施肥方法: LPS100は畝中央部20cm幅の条施肥
- (4) 試験区の構成(1996年): 表1に示したように、肥効調節型肥料のLPS100をa当たり窒素成分量で1.3kg及び1.0kgとし、対照区として化成肥料(単作)1.3kgを設けた。
- (5) 供試品種: ソラマメ; 陵西1寸 ブロッコリー; 緑嶺
- (6) 耕種概要: 前作ソラマメ; 播種3月1日, 定植4月15日
後作ブロッコリー; 播種7月10日, 定植8月6日
耕起・施肥・畝立て; 4月9日
栽植密度; 畝幅120cm株間30cm(277株/a)
対照区ブロッコリー単作; 畝幅150cm, 株間40cm, 条間40cm, 2条植(333株/a)
作付前土壌; pH5.8 EC0.04mS/cm, 地温上昇抑制型フィルムで生育全期間マルチ栽培
作業手順; 図1参照

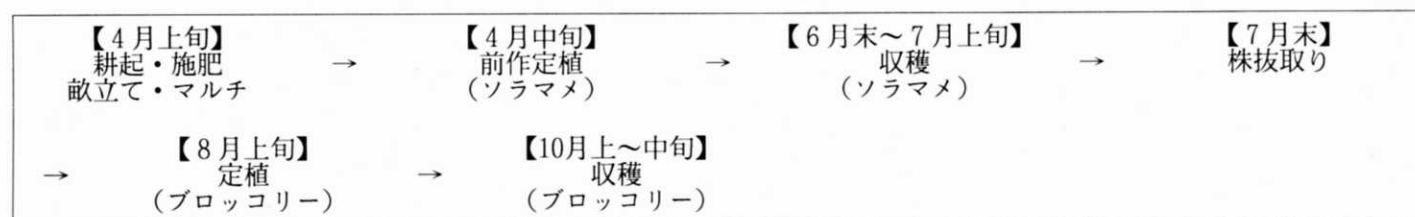


図1 2作どり1回施肥法の作業手順

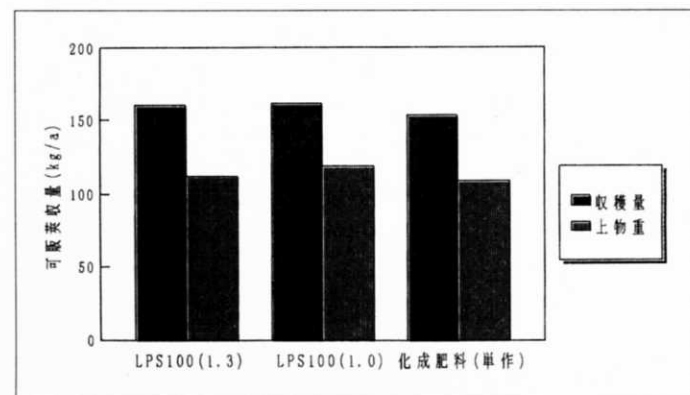


図2 前作ソラマメへのLPS100の影響(1996年)

3 試験結果及び考察

(1) 後作ブロッコリー分として用いたLPS100の施肥量の違いによる前作ソラマメへの負の影響はなく、a当たり収量は単作の化成肥料と大差なかった(図2)。

表2 後作ブロッコリーの生育期調査

(1996年8月25日)

試験区	草丈 (cm)	生葉数 (枚)	最大葉 (cm)			草幅 (cm)
			葉長	葉幅	位置	
1	25	9	21	12	7	36
2	27	9	21	13	7	39
3(対照)	24	8	18	10	7	29

注. *: 最大葉の位置は下からの本葉の着位とした。

表3 ブロッコリーの収量 (20株平均1996年)

試験区	頂花蕾		出荷規格割合 (%)					収量 (kg/a)	対照比 (%)	収穫始 (月/日)
	花蕾重(g)	花蕾径(cm)	3 L	2 L	L	M	S			
1	288	11	0	65	35	0	0	80	107	10/7
2	274	10	10	55	35	0	0	76	101	10/4
3 (対照)	224	8	0	65	35	0	0	75	100	10/9

注. 出荷規格 3 L : 500~400 g 2 L : 400~250 g L : 250~150 g M : 150~125 g S : 125~100 g

(2) 後作ブロッコリーに対する影響は、生育期で LPS 100のa 当たり施肥窒素1.0kgが生育旺盛であった(表2)。

収穫期では、LPS 100のa 当たり施肥窒素1.3kgが花蕾重で勝り、出荷規格のばらつきが少なく、LPS 100 1.0kg 及び対照の化成肥料1.3kgより勝った(表3)。

4 ま と め

2 作体系 1 回施肥法の後作窒素施肥量は、肥効調節型肥

料を用い、a 当たり1.3kgを前作同時施用すると施肥効果が高いことが認められた。

引 用 文 献

- 1) 田口多喜子, 加賀谷松和, 田村晃, 佐藤福男. 1996. ソラマメブロッコリーの年2作体系における基肥1回施肥法. 東北農業研究 49:205-206.